

学生から見たキャンパスマナー

国際理解教育課程 国際文化コース 4年

辻 彩花

平成21年7月1日 キャンパスミーティング

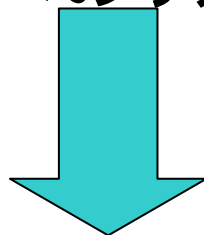
はじめに

なぜ今キャンパスマナーなのか

- ・大人としての責任
- ・これからの大学づくりにおいて最も考えるべき事項のひとつ

喫煙

喫煙による健康へのリスクなど禁煙の流れ



大学の敷地内での全面禁煙実施の是非(昨年の全学会議での協議事項)

法律で認められている権利なので、むやみに規制することはできない

現在の喫煙箇所・・・

9ヵ所(ハンズの横など)

第一人文棟入り口付近の喫煙スペース

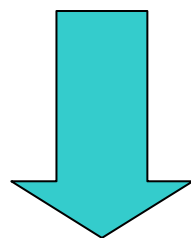
多くの人を通る道のそばにあるため、
受動喫煙などの問題が指摘されていた

平成21年4月に撤去


学生の認知が少ない

喫煙に対する学生の見方

喫煙スペースを減らし、全面禁煙を目指すべき
ルールを厳しくすれば隠れて吸ったり、吸殻を捨てたりする人が増えることが予想されるため、全面禁煙には反対



総意としてまとめることは難しい



一部の心ない人による行動で規制が厳しくなるのは喫煙者にとっても非喫煙者にとっても好ましくない

基本的なマナー向上に努めた上で、自分にとってタバコとは、喫煙とは、吸う人と付き合うとはなどについて改めて考えたい

キャンパスは自分だけのものではないことを自覚して行動すべき



飲酒に対する学生の見方

- 未成年者の飲酒

軽い気持ちで勧められるがまま飲酒している
生命にかかわる重大な問題に発展することがある

なぜ法律で禁止されているのかを考える必要がある

- 学内における飲酒運転

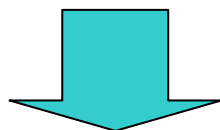
学内だからといって許される問題ではない



学生として守るべきマナー

- ほとんどの学生はマナーを守って生活している

ごく一部の学生のせいで大学全体のマナーが悪いと感じられたり居心地が悪いと思うのは残念



学生が加害者にも被害者にもなってほしくない



卒業して良かったと言える大学へ

全ての学生が卒業後に「愛教大出身です」と胸を張って言える大学づくり

押し付けられた規則ではなく、私たち学生の側から声を上げ、マナーについて考えたい
在学している一瞬のことではなく、長い目で愛教大を過ごしやすいキャンパスにできるよう取り組みたい